

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	幼児と環境				
担当者氏名	荘司 泰弘				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」保育内容である領域「環境」の指導の基盤となる知識、技能を身につける。具体的には、幼児を取り巻く環境の特徴と環境と関わる力の育ちの意義について理解するとともに、幼児の自然環境、社会的環境、物的環境等の関わりを通じた興味・関心・理解の育ちを考察することができる。

《授業の到達目標》

1. 幼児を取り巻く保育環境の構成と遊びの中で育つ幼児の社会的認識の発達の関係について説明できる。
2. 幼児の身近な自然・生物との関わり方について幼児の自然認識の特徴をもとに説明できる。
3. 幼児の身近な物や遊具との関わりと具体的な活動について説明できる。

《成績評価の方法》

授業内で実施する課題・確認試験・レポート 90パーセント。平常点(授業のふりかえり) 10パーセントによって総合的に判断する。

《テキスト》

ポータルサイトのオンライン講義の資料を対面形式で使用する。

《参考図書》

幼保連携型認定こども園教育・保育要領  
[https://www.mhlw.go.jp/web/t\\_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1](https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1)

《授業時間外学習》

「保育内容総論」の環境による援助の予備知識が必要です。

《備考（教員経験の有無）》

「保育内容総論」の関連下位科目です。  
 実習園庭での栽培実習と保育実習室での壁面構成を課すが、オンライン希望者には自宅での作業とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	第1回	保育内容・領域「環境」の基本的理解
2	第2回	環境との関わりの中で広がる幼児期の遊び
3	第3回	身近な生活環境、社会的環境での遊びから育てる認知的象徴機能
4	第4回	ごっこ遊びから広がる幼児の社会認識と保育者の役割
5	第5回	幼児の自然との関わりと具体的な活動を支える保育者の飼育・栽培技術
6	第6回	自然との関わり（季節や天候の自然認識）をふまえた遊びや指導
7	第7回	自然との関わり（飼育・栽培活動）を通じた幼児の学び
8	第8回	幼児の物的環境との関わりと具体的な活動①ー遊具に用いられる材料の特徴や性質
9	第9回	幼児の物的環境との関わりと具体的な活動②ー木材を使ったおもちゃ作り
10	第10回	幼児の物的環境との関わりと具体的な活動③ーごっこ遊びや制作活動
11	第11回	幼児の文字や標識との関わりと具体的な活動ー遊びの中で培われる記号認識
12	第12回	幼児の数量との関わりと具体的な活動 ①ー遊びの中で培われる数量認識
13	第13回	幼児の図形との関わりと具体的な活動 ②ー遊びの中で培われる形認識
14	第14回	幼児と地域文化とのかかわりと具体的な活動ー遊びの中で培われる社会認識
15	第15回	発見学習環境を通じた保育について試験を課す。